

説教「その名はイエス、救い主」

マタイ一・一八〜二三

牧師 森田恭一郎

一人のみどり児が私たちのために生まれた。一人の男の子が私たちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は「驚くべき指導者、力ある神、

永遠の父、平和の君」と唱えられる(イザヤ九・

五)。イザヤが預言し待ち望んでいた神さまの御子が、天から降りて来られて、聖霊によってマリアのお腹に宿り、クリスマスの晩、お生まれになります。天使は、このことをヨセフに夢で教えて

あげました。それからその夢の中で生まれてくる男の子のお名前も教えてくれました。「マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい」

(マタイ一・二二)。皆さん、男の子のお名前は？(と問いかけて)「イエスさま！」(と答えてもらいます)。その通りです。

続けて天使は不思議なことを語ります。「この子は自分の民を罪から救うからである」。「から」というのは理由を表していますね。「この子は自分の民を罪から救う」、だから、そういう理由で「イエスと名付けなさい」。この二つの文章、うまく繋がりますか？ それはイエスという名前の意味を知ると分かります。イエスとは「主は救い」という意味です。それで、自分の民を罪から救うから、イエス主は救いと名付けなさい。繋がりましたね。

お父さん、お母さんが子どもに願いを込めて名前を付けます。例えば、一郎という名前は一番目に授かった子という意味があります。嬉しかった

のでしょね。それから平和という名前の私の友だちがいます。この名前はそのまま平和という言葉です。平和の和と書いて和子さんという友だちもいます。きつと、みんなが仲良くなるようにという願いを込めています。神さまもこの男の子の名前に願いを、そしてご計画を込めました。この子は自分の民を罪から救う。だから「イエス主は救い」と名付けなさい。自分の民を罪から救うこの願いとご計画を込めています。

天使は、夢の中でもう一つ名前を言いました。旧約の時代に預言者が神さまから聞いた言葉です。

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる」。インマヌエルという名前。これも意味があります。「神は我々と共におられる」という意味です。ただ、名前と言っても、私たちは「インマヌエルさま」って呼んだことないですね。これは、イエスさまに出会うと神さまは私たちと一緒におられる、という神さまの宣言です。また、イエスさまに罪を赦して戴いたら、神さまは私たちと一緒にいて下さる、と心から思えるようになりますよ、ということですよ。

この夢では天使は語りませんでした。イエスさまにはもう一つお名前があります。皆さんもよく知っていますよ。「キリスト」です。この意味は「救い主」という意味です。ですから、イエス・キリストと言えば「イエスさまは救い主です」と言い表していることになりました。森田先生と言えば「森田さんは先生です」と言っているのと同じです。

このように、この男の子には三つの名前があるのです。主は救い、それは？「イエスさま！」。神は我々と共におられる、それは？「インマヌエル！」。イエスさまは救い主、それは？「イエス・キリスト！」ですね。

皆さんにはみんな名前があります。名前があるのだから、名前を呼んで欲しいですよ。せつかく名前があるのに誰も呼んでくれないとしたら寂しいです。クリスマスにお生まれになったこの男の子、天使が「その子をイエスと名付けなさい」と言いました。それは、その名を呼びかけなさいと私たちに促しているのです。「イエスさま」ってこう呼ぶことが、イエスさまに心を向け、心を開いて、キリスト教信仰の第一歩になります。それでは皆さん、大きな声で「イエスさま」って呼びかけてみましょう。「イエスさま！」。